

韓国でランピースキン病発生

【韓国での発生状況】

2023年 131件 6,995頭

2024年 24件 304頭

2026年7月11日 新たに発生

【日本での発生状況】

2024年11月6日 国内初発生

福岡県19農場、熊本県3農場で発生

2025年2月以降発生確認なし

媒介昆虫等を介した日本への侵入リスクが高まっています

☆本病は、本年7月1日付で家畜伝染病に位置付けられ、発症牛の隔離・殺処分、畜舎消毒、移動および出荷の制限などが義務付けられています。

☆皮膚病変に加え、乳量低下や生乳出荷停止により特に酪農に深刻な経済被害をもたらしますので、日々の観察を徹底し、もし、疑われた場合は速やかに家畜保健衛生所にご連絡ください。

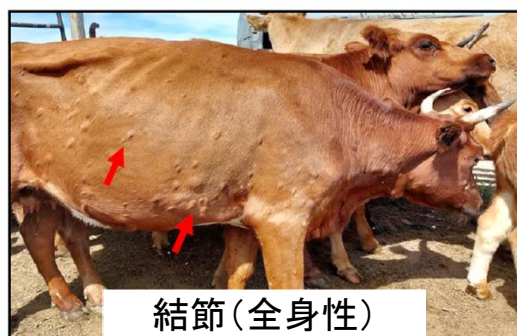
ランピースキン病を疑う症状

発熱、鼻汁

皮膚の結節

泌乳量の低下

リンパ節の腫大



結節(全身性)



皮膚病変

特徴的な皮膚病変

皮膚は、最初は硬くわずかに盛り上がり、直径1～8 cmの結節に発展。その後、特徴的な逆円錐状の壊死巣を形成し、皮膚に穴を残して脱落。二次的な細菌感染を起こすことがあります。

【感染要因】 皮膚病変、唾液、鼻汁、乳汁、精液等にウイルス排出

感染した牛の移動、吸血昆虫による機械的伝播

【発生予防】 ①他の農場から飼養器具を持ち込まない

②平時からの吸血昆虫駆除

③注射針・人工授精器具など体液付着物品は1頭ごとに交換または消毒
(エタノール、次亜塩素酸ナトリウム、逆性石鹼などの一般的な消毒薬が有効)

滋賀県家畜保健衛生所
近江八幡市西本郷町226-1
TEL:0748-37-7511
FAX:0748-37-4821
緊急携帯:090-3613-7486

北西部支所
高島市今津町弘川249-1
TEL:0740-22-2145
FAX:0740-22-6681
緊急携帯:080-6176-8052